

PRESS RELEASE

これからの災害対策と環境問題に備えた、 国内初の再資源化保証ソーラーパネル「サステナパネル®」 を使用したEV搭載用蓄電システムを開発

【概要】

株式会社新見ソーラーカンパニー（代表取締役社長 佐久本 秀行：以下「新見ソーラーカンパニー」）は、国内初となる買い取りによる再資源化を保証したソーラーパネル「サステナパネル®」の発売を2023年より行っております。このサステナパネルと蓄電池を組み合わせた蓄電システムを、EV（電気自動車）に搭載可能なものとして開発いたしました。開発したEV搭載用蓄電システムは、三菱自動車のミニキャブEVに搭載した状態で、9月5日、6日に神戸で開催される国際フロンティア産業メッセ2024で展示公開いたします。



【蓄電システム搭載EVの外観】



【EV内の蓄電システムの設置状態】

【サステナパネル®（再資源化保証ソーラーパネル）】

- ソーラーパネルが不要又は故障となった際、弊社が有価物として引き取り、責任を持って再資源化します。つまり、廃棄物として処理しないため、**廃棄費用が不要となります。**

| 通常パネル | 設置費用 | 解体費用 | 廃棄費用 |
|---------|------|------|--------------------------|
| サステナパネル | 設置費用 | 解体費用 | パネル買取でコストダウン これだけお得に！ |



- 世界初となる、CO2排出のないソーラーパネルを再資源化できる「佐久本式熱分解装置」により再資源化するため、埋立廃棄等により地球環境を汚染することはありません。

【展示会場とブース場所】

国際フロンティア産業メッセ <https://www.kobemesse.com/>

日時：2024年9月5日（木）・6（金）

10:00～17:00

場所：神戸国際展示場

新見ソーラーカンパニーブース：B-09（2号館）

<https://www.kobemesse.com/exhibit/18438>

問い合わせ先

広報担当 山田庸子（やまだようこ）
住所：〒718-0002 岡山県新見市下熊谷1545-3
TEL：0867-88-8217（代表）
FAX：086-899-6477
MAIL：ra-info@niimi-solar.com

会社概要

株式会社新見ソーラーカンパニー
代表取締役社長 佐久本 秀行
設立：2009年（平成21年）8月25日
資本金：4百万円
事業内容：ソーラーシステムおよびソーラー製品開発販売
佐久本式ソーラーパネル熱分解装置開発

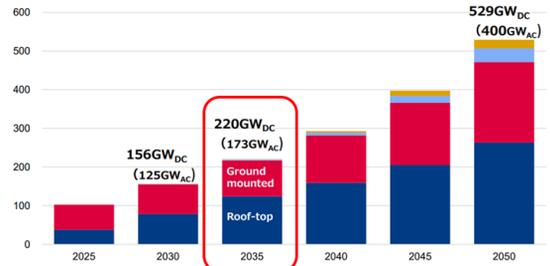
【背景】

- 2050年カーボンニュートラル実現をめざし、2050年度までに529GWの太陽光発電（2022年度末導入料87GWの約6倍）の導入が目標とされています。
「PV OUTLOOK 2050」(JPEA 2024年)
- 近年、地震や大雨といった自然災害の激甚化に伴い、停電件数が増加傾向にあることから、大規模停電時にも自立的運用を可能とするために、太陽光発電と蓄電池を組み合わせた蓄電システムの普及が求められています。
- 今後、ソーラーパネルは2030年代から廃棄が急増、2036年には年間17万~28万トンにのぼると推計されています。
「太陽光発電リサイクルに関する国内動向調査、分布調査及び排出量予測」(NEDO、(株)三菱総合研究所、2019年)
- 使用済ソーラーパネルのリサイクル施設は増加していますが、そのほとんどが埋め立て廃棄されており、再資源化まで至っていないのが実情で、埋立処分場の残余容量も、2030年代半ばにはひっ迫すると予測されており、不法投棄が心配されます。(環境省「産業廃棄物行政組織等調査報告書」より)
- 一方で、世界で製造されているソーラーパネルは中国製が大多数(78%)を占め、国産ソーラーパネルはわずか0.1%しかありません。
(株)資源総合システム調べ(一部推定、2023年7月現在)よ
- 埋立に頼らないソーラーパネルの国産化に向けて、「ソーラーパネルのサーキュラーエコノミー」の実現が求められています。

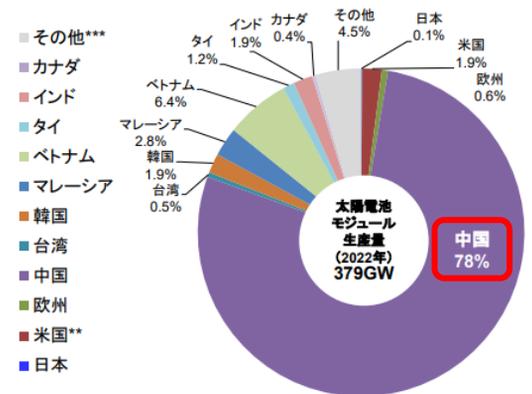
導入見通し(累計)の分析結果

蓄電の単位: GW (1キロワット=10075kW) GW_{dc}は直流出力(太陽電池モジュールの合計出力)

■建物設置 ■地上設置 ■水上設置 ■その他設置形態



(一社)太陽光発電協会「PV OUTLOOK 2050」より

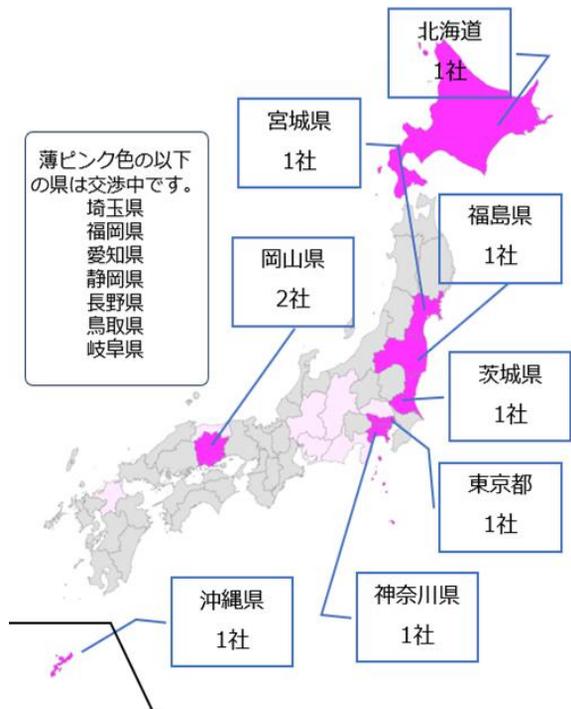


【現在の状況】

- 現在、サステナパネル®の特約店として、岡山2社を皮切りに、関東の東京、神奈川、茨城以外に、北海道、福島、沖縄にも展開し、全国で9社が加盟しております。
- 9社の特約店以外について、埼玉、愛知、静岡、長野、岐阜、鳥取、福岡で、現在、交渉中です。

【今後の方針】

- 太陽光発電の設置導入量が多い兵庫や大阪にも特約店契約を広げていき、サステナパネル®の販売を全国的に拡大させていく予定としております。
- サステナパネル®について、今後は、国産メーカーとタイアップすることで、国産パネルの取り扱いを行うとともに、建材一体型パネルについても取り扱うことで、商品のレパトリーを広げる予定です。



問い合わせ先

広報担当 山田庸子(やまだようこ)
住所: 〒718-0002 岡山県新見市下熊谷1545-3
TEL: 0867-88-8217 (代表)
FAX: 086-899-6477
MAIL: ra-info@niimi-solar.com

会社概要

株式会社新見ソーラーカンパニー
代表取締役社長 佐久本 秀行
設立: 2009年(平成21年)8月25日
資本金: 4百万円
事業内容: ソーラーシステムおよびソーラー製品開発販売
佐久本式ソーラーパネル熱分解装置開発

【株式会社新見ソーラーカンパニーについて】

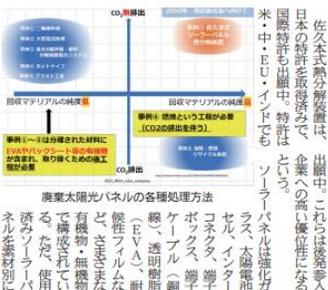
株式会社新見ソーラーカンパニーは、「美しい地球を次世代へ」を経営理念として、2009年に岡山県新見市でソーラー発電システムおよびソーラー製品の開発・販売を行う会社として設立しました。

2022年にソーラーパネルをCO2の排出なく高純度に分解できる「佐久本式ソーラーパネル熱分解装置」の発表後、岡山県や京都府のガラス工芸作家などの協力により、分解後のガラスによるガラス製品(Rebornglass®)の製作についても国内で最初に成功させました。

また、CSR活動として次世代の人財育成にも力を入れており、新見市内の小学生を対象に子供たちの将来なりたい職業や夢をテーマにした作文を募集し、入賞者は実際に「夢」の一部を体験することができる「ドリームチャレンジャー」を毎年開催しています。



佐久本社長「美しい地球を次世代に」



佐久本式熱分解装置は、出展中、これらが発見された国際特許も取得済みで、企業への高い優位性になる。米・中・E.U・インドでもソーラーパネルは増産化が加速し、CO2削減も急務。環境負荷低減と資源の有効活用が求められる中、佐久本式熱分解装置は、出展中、これらが発見された国際特許も取得済みで、企業への高い優位性になる。



新見ソーラーカンパニー

廃棄パネルを純国産リポーンパネルへ



「佐久本式ソーラーパネル熱分解装置連続機」完成

ソーラーパネルを国内循環、エネルギーの自給自足実現

- 新見ソーラーカンパニー 沿革**
- 2009年8月 太陽光発電システム施工・販売を事業として設立
 - 15年11月 岡山県新見市にてソーラーシェアリングを設備
 - 17年4月 ソーラーパネルの廃棄問題に取り組み
 - 18年9月 佐久本式ソーラーパネル熱分解装置の開発開始
 - 18年8月 児島市小学生対象のドリームチャレンジャー事業を開始
 - 20年12月 佐久本式ソーラーパネル熱分解装置(バッチ型)完成
 - 20年10月 「中国実用新案登録202233552」取得
 - 21年9月 「日本特許特許0893号」発行
 - 23年2月 岡山労働局より「岡山働き方改革イノベーション企業」表彰
 - 6月 再資源化保証付ソーラーパネル「サステナパネル」販売開始
 - 8月 使用済パネルから再生したリポーンパネルの試作に成功
 - 9月 日本外国特派員協会にてPVRリポーン協会と共同記者会見(リポーンパネルについて)
 - 11月 第11回プラチナ大賞「環境イノベーション賞」受賞
 - 24年4月 佐久本式熱分解装置連続機完成記者会見

抽出するものは、アクリル樹脂に封入されたシリコンを再び元のシリコンに戻す。佐久本式熱分解装置は、出展中、これらが発見された国際特許も取得済みで、企業への高い優位性になる。

抽出するものは、アクリル樹脂に封入されたシリコンを再び元のシリコンに戻す。佐久本式熱分解装置は、出展中、これらが発見された国際特許も取得済みで、企業への高い優位性になる。

新見ソーラーカンパニー(本社岡山県新見市下熊谷1545-3、社長佐久本秀行氏は、2009年の設立。兵庫県出身の佐久本社長は当初、医師の道を選んだ。川崎医療短期大学(岡山県)で放射線技師の資格を取った後、放射線技師として新見市の太田病院で5年間勤務した。その一方、太陽光パネルは長年興味をもち続けていた。太陽光パネルの原理としてシリコンで分かるとは、誰にでも平等降り注ぐ太陽のエネルギーを電気に変えることができる。これはとても素晴らしいと感じた。34歳の時に自ら新見ソーラーカンパニーを設立し、メーカーとして歩み出す。同社の経営理念は「美しい地球を次世代へ」。24年4月に本社でサステナブル製品「佐久本式ソーラーパネル熱分解装置連続機」が完成し、本誌記者会見を行った。廃棄パネルを純国産のリポーンパネルにリサイクルするこの世界でも例を見ない「カーボントラップ」の取り組みについて紹介する。(白木 毅俊)

今後大量に廃棄されるソーラーパネルを、環境負荷低減の観点から、佐久本式熱分解装置でリポーンパネルへリサイクルする研究開発の一環として、PVRリポーン協会を設立し、ソーラーパネルの再資源化の強いネットワークを構築する。40年間の経験とノウハウを約70名に試験する。150社で、うち5社以上が協会の設立に賛同している。具体的には、廃棄されたガラス・太陽電池セル・銅線、抽出したガラス・太陽電池セル・銅線、ソーラーパネルの再資源化。

「佐久本式ソーラーパネル熱分解装置」の開発により、使用済のソーラーパネルの再資源化が可能となりました。このソーラーパネルの再資源化のための取組について、2024年4月に衆議院の環境委員会において、弊社代表の佐久本秀行が参考人と承知されるに至りました。(https://www.shugiintv.go.jp/jp/index.php?ex=VL&deli_id=55192&media_type=)



問い合わせ先

会社概要

広報担当 山田庸子(やまだようこ)
住所: 〒718-0002 岡山県新見市下熊谷1545-3
TEL: 0867-88-8217 (代表)
FAX: 086-899-6477
MAIL: ra-info@niimi-solar.com

株式会社新見ソーラーカンパニー
代表取締役社長 佐久本 秀行
設立: 2009年(平成21年)8月25日
資本金: 4百万円
事業内容: ソーラーシステムおよびソーラー製品開発販売
佐久本式ソーラーパネル熱分解装置開発